



福島子どもと親のメンタルヘルス
情報・支援センター

“FCMIC（フクミック）”について

FCMIC（フクミック）は、福島国際研究
教育機構「F-REI（エフレイ）」から委託を
受けた研究事業を実施する機関です。

私たちは、東日本大震災後から現在まで、
福島県及び県内市町村と協働し「原発事故後
の子どもと親のメンタルヘルス研究」に取り
組んできました。

FCMICでは、これまでの研究事業を発展
させ、浜通りのニーズに合わせた親子支援プ
ログラムの開発と地域実装に取り組むことに
より、地域の子育てを応援します。また、得
られたデータや知見を集積し、医学的・社会科
学的視点から検証し、広く国内外に発信する
ことによって、今後の災害への対策に資する
活動を行います。

FCMICは、福島学院大学が設置・運営し、
センター長は、当研究の研究代表者である内
山登紀夫福島学院大学 副学長・教授が就任し
ています。

本研究事業の実施期間は、2024年4月から
6年間の予定です。

FCMICホームページ



<https://www.fcmic.space>

事業主体：福島国際教育研究機構（F-REI）
事業受託機関：福島学院大学
課題名：福島県浜通りのこどものメンタルヘルス支援
研究代表者：内山登紀夫

住所：〒960-8505
福島県福島市本町2-10
福島学院大学駅前キャンパス3F
TEL：024-515-3228
e-mail：info@fcmic.net

※福島国際教育研究機構（F-REI）とは

原子力災害に見舞われた福島県が創造的復興
を達成するとともに、複合災害に対する備え
として国際的な貢献をしていくために、「福
島の経験」から得たデータや知見を集積・分
析し、復興や防災・減災に繋がる知見を生み
出し、社会実装を進めることを目指すための
組織で7つの省庁が関与する国の組織です。
詳しくは、ホームページをご参照ください。
<https://www.f-rei.go.jp/>

福島子どもと親の
メンタルヘルス
情報・支援センター
(FCMIC)

*Fukushima Child Mental
Health Information Centre*



@FCMIC



調査研究

東日本大震災（以下、震災）後の福島第一原子力発電所事故による避難の影響を受けた親子を対象に、子どもの発達と保護者のメンタルヘルスの経時的変化について10年以上に渡り調査を続けてきました。

具体的には、①1歳半、3歳児における乳幼児健診問診票を分析します。その後、成長に伴い②小学2年生、5年生時点での子育てアンケート（保護者記入）を実施し、①とデータを連結して経時的に親子の実態を把握します。支援ニーズの高い親子の発見や今後、思春期・青年期を迎える子どもの個別の支援にも役立つものです。

これらの研究成果は、国や市町村事業の施策に役立てると共に、当センターの地域に合わせた保護者支援プログラムの開発のエビデンスとして活用されます。

地域支援

震災後の各市町村の復興状況及び、各地域の特性は異なるものです。

そこで、地域の実態に合わせてランチから地域支援を行います。

具体的には、調査研究の成果を踏まえ、子どもの発達支援や発達障害のある子どもを支援を目的として、保護者・支援者向け教材・研修プログラムの開発を行います。そして、地域のニーズに合わせて実施方法や内容を検討し、プログラムを提供します。

<地域拠点：ランチ開設>



- (形式) ・ 共同開催
・ 講師派遣
- (内容) ・ ママサロン
・ 保護者向け勉強会
・ 支援者研修会

情報発信



調査研究で得られたデータや知見を集積し、医学的・社会的視点から検証し、地域の子育て世代にわかりやすく発信します。

併せて、今後の緊急・災害時の備えとして、また平時の親子支援に役立つ情報について、支援者向けに研究成果報告を行います。

発信方法は、ホームページを活用します。その他の手段については、現在検討中です。

随時、発信してまいります。

